

タイトル	著者名	内容紹介
子宝船	宮部みゆき	宝船の絵から弁財天が消えたー。江戸深川で起こる不可解な事件に二人の「きたさん」が立ち向かう、謎解き×怪異×人情の捕物帖シリーズ、第2弾。
競争の番人	新川帆立	公正取引委員会の審査官・白熊楓と小勝負勉は、反発しあいながらも調査に乗り出す。数々の妨害を越えて、市場を支配する巨悪を打ち倒せるか。
宙ごはん	町田そのこ	宙には、育ててくれている『ママ』と産んでくれた『お母さん』がいる。二人の母がいるのは「さいこーにしあわせ」だったが…
くるまの娘	宇佐見いん	車で祖母の葬儀に向かう、17歳のかんこと家族。思い出の景色や車中泊の密なる空気が、家族のままならなさの根源にあるものを引きずりだしていき…。
ふしぎ駄菓子屋 銭天堂17	廣嶋玲子	研究所を失った六条教授は、蔵木という男を使って、紅子を苦しめるあらたな計画をたてる。かつて蔵木は銭天堂の駄菓子を食べ、他人からかくれた才能を見出せる能力をもつ男だった。